

第29回全国棚田（千枚田）サミット in 上田 参加申込にあたって

【はじめにお読みください】

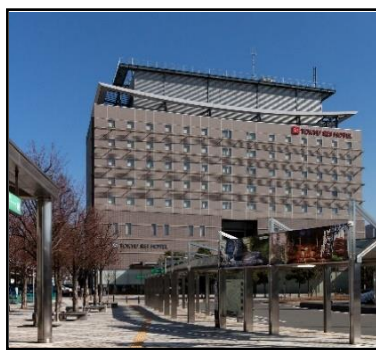
本サミットにおける主な留意点を以下にまとめました。必ずご一読ください。

① 分科会と式典の順番について 【10月17日（木）】

本サミットでは、1 分科会 → 2 式典 の順番に実施します。

ついては、サミット参加者の受付は各分科会の会場で行います。

分科会会場は以下の3か所ですので、集合場所にはご注意ください。



上田東急 REI ホテル
(第1分科会)



上田高砂殿
(第2分科会)



サントミュージゼ
(第3・4分科会・ミニ分科会)

会場位置図



② 移動手段について

本サミットは、すべての会場が上田駅から徒歩圏内にございます。また、周辺に駐車場も少ないことから、無料駐車場の御用意はできません。誠に恐れ入りますがなるべく公共交通機関を御利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。
なお、バスでお越しの団体については、専用駐車場をご用意することが可能です。お申し込みの際に、会場までの交通手段をご報告ください。

③ 昼食について（12：00～14：00）

各分科会会場にて、希望者にはお弁当（1,500 円、ペットボトルお茶付き）をご用意します。下の写真をご確認の上、参加申し込み時に一緒に御注文ください。
※各会場によってお弁当の内容が異なりますのでご注意ください。

なお、各会場とも周囲に飲食店がございます。上田市のB級グルメ（美味だれやきとりや、あんかけ焼きそば など）も味わえますので、ぜひ足をお運びください。
昼食の時間は、12：00～14：00（式典 開始時刻）までの時間となります。



上田東急 REI ホテル



上田高砂殿



サントミューゼ

④ 式典について（14：00～17：30）

式典は「サントミューゼ大ホール」にて開催しますので、昼食後、各自でご移動をお願いします。開始時間の14：00までにお越しください。

大ホール前のホワイエでは展示、ブース出展も行いますので、ぜひご覧ください。
また、式典は、開会 → 事例発表 → 閉会式典 まで一括して執り行います。

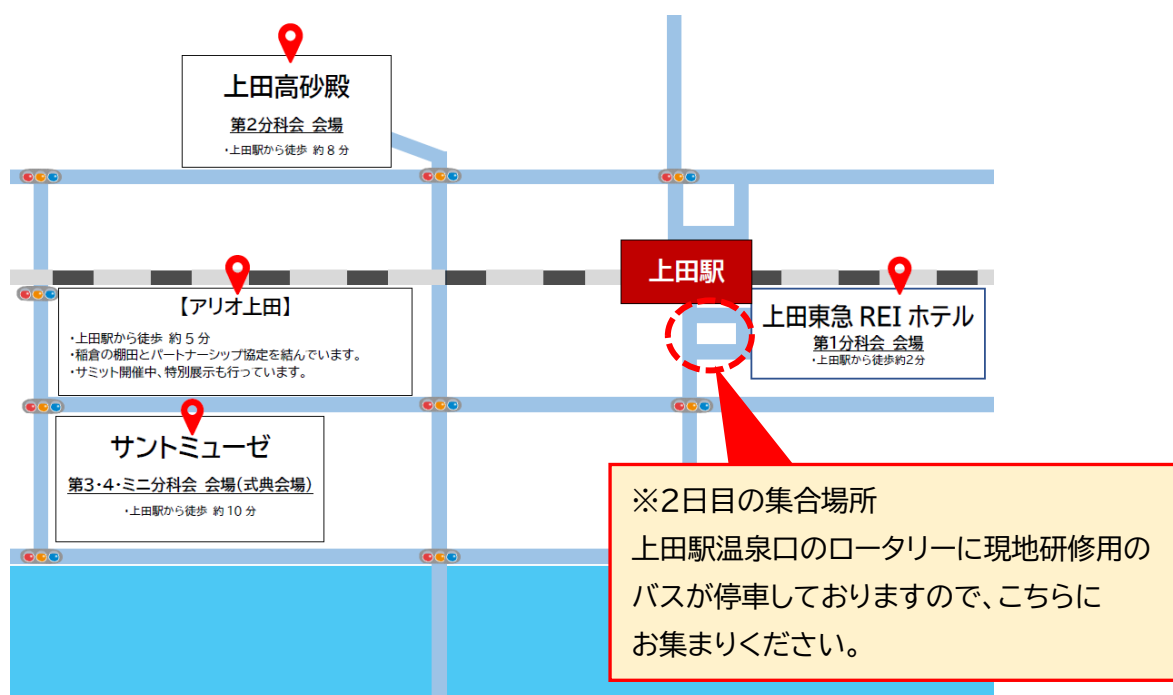
⑤ 交流会について（18：30～）

交流会は18：30より、「上田東急 REI ホテル」にて実施します。参加される方は、式典閉会后、ご移動をお願いいたします。交流会において、中島峰広先生による「ミニ棚田守り人ミーティング」も予定しておりますので、お楽しみに。

なお、交流会の参加申込におきまして、お申込みいただいた後、会場の都合により各団体の参加人数を調整させていただく場合がございます。200名程度ご参加いただける会場ではございますが、できる限り多くの団体の皆様にご参加いただけるよう、申込期間後に「各団体2名まで」といった調整をお願いする可能性がありますので、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

⑥ 2日目（10月18日）の現地研修会集合場所、集合時間について

集合場所は、上田駅温泉口のロータリーです。1日目の各会場とも異なりますので、ご注意ください。コースにより集合時間が異なりますので御注意ください。



⑦ 現地研修会の解散時間、途中下車（解散）について

現地研修会のコースごとに解散時間が異なります。また、コースごとにアリオ上田店または長野駅での途中下車（解散）が可能です。途中下車・解散の希望がある方は当日にバスの担当者へお申し付けください。

ご留意いただきたい点は、以上です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

各分科会の御案内 【10月17日（木）】

第1分科会

- ・テーマ 棚田活用の取組み方とねらい ～棚田保全に必要なこととは～
- ・会場 上田東急REIホテル 3階 「信濃」

- ・コーディネーター

信州大学 学術研究院（農学系） 准教授 内川 義行 氏

- ・話題提供者

稲倉の棚田保全委員会 地域おこし協力隊 玉崎 修平 氏

- ・内容

多くの人が「カカワレル」棚田を目指して、各種の取組みを考え、実践してきた稲倉の棚田。

その苦労と喜びの裏側を登壇者のトークを通じて、わかりやすくお伝えします。
これからの棚田活用・活性を考える各地の皆様も一緒に、今後のあり方と、保全にとって本当に必要なことは何かを考える時間を共に過ごしませんか？



内川 義行 氏

第2分科会

- ・テーマ 棚田と教育機関との連携 ～入り口としての教育機関とその広がり～
- ・会場 上田高砂殿 2階 「瑞松」

- ・コーディネーター

長野大学 環境ツーリズム学部 教授 満尾 世志人 氏

- ・話題提供者

稲倉の棚田保全委員会 自然探究会

- ・内容

棚田に関わるきっかけとしての教育（機関）やそこから生じる波及効果などについて掘り下げていきたいと思います。学生による取り組み状況等を話題提供や、会場から他の棚田の情報も共有しつつ、カカワレルための身近な「入り口」となるための棚田の役割について考えます。



満尾 世志人 氏

第3分科会

- ・テーマ 企業も棚田も得するかかわり ～稼ぐ棚田を考える～
- ・会場 サントミュージゼ 小ホール

- ・コーディネーター
岡崎酒造株式会社 代表取締役 岡崎 謙一 氏
- ・話題提供者
稲倉の棚田保全委員会 委員長 久保田 良和 氏



岡崎 謙一 氏

- ・内 容
棚田が素敵な場所であることはみんなわかっていますが、現実の保全活動は負担が大きく、人手不足が続いているため、行政からの補助金や寄付金でどうにか成り立たせていることが多いと思います。
ただ、その資金もいつまで続くかわかりません。持続可能な棚田保全のために民間企業が稼げる棚田を目指してみませんか？民間企業が棚田で稼ぐことができ、棚田に積極的に投資することで企業も棚田も得することができると思います。一緒にアイデアを出し合いましょう！

第4分科会

- ・テーマ 子どもたちが創る棚田のミライ ～アイデア出しワークショップ～
- ・会場 サントミュージゼ 大スタジオ（最大 40 名）

- ・コーディネーター
アソビノ 代表 沓掛 瑞穂 氏
- ・話題提供者
稲倉の棚田保全委員会



沓掛 瑞穂 氏

- ・内 容
上田市の実際の事例をもとに、棚田を維持していくために大切な次世代につながっていくアイデアをみんなで出し合います。一方的な講義ではなく、ワークショップという“対話”形式。
ただ参加して終わり、はもったいない！ここで出たアイデアを、参加者の各フィールド（棚田）に当てはめて活かせるヒントを”ひとつだけ”持ち帰ってもらいます。
自分たちで考え、気づき、湧き出たものだからこそ、行動につなげていける。教えてもらう分科会ではなく、対話しながら自分たちで生み出す分科会です。

ミニ分科会（A～C）

難しいテーマだからこそ、全国の参加者みんなで語ろう！ミニ分科会は参加者全員が車座になって自由に意見を出し合う分科会です。（参加者最大各 20 名）

進行サポート：稲倉の棚田保全委員会

ミニ分科会A

- ・テーマ 地元愛を育む場所としての棚田へ ～地元の人に知ってもらうには？～
- ・会場 サントミューゼ 多目的ルーム
- ・内容

地元の方はどれくらい棚田のことを知っているのだろうか。都市圏の人たちにとって長閑（のどか）で素晴らしい景観でも、地元の方にとってはお米を育てるのが難しい厄介な場所だったり、身近すぎて気づいていない場所だったり。ただ、景観や体験を上手に紹介できれば、地元愛を育む象徴的な存在になれそうです。地元の人たちにどのように棚田を紹介していけばよいか話し合ってみませんか。

ミニ分科会B

- ・テーマ 関わる人の多様化と可能性の拡大 ～作業協力者を増やすには？～
- ・会場 サントミューゼ 第1会議室
- ・内容

稲倉の棚田、全国の棚田、農業に限らずどこの業界も人手不足、後継者不足は大きな問題です。

ただ、思ってもみなかった人材が棚田と合致（マッチ）する事もあるかもしれません。皆さんでカカワル人、カカワレル人、発想の転換で棚田の可能性を考えてみませんか。

ミニ分科会C

- ・テーマ 10年後の棚田のあるべき姿
～「変わったね」と「変わらないね」には何が必要？～
- ・会場 サントミューゼ 中スタジオ
- ・内容

稲倉の棚田に限らず、日本の棚田（千枚田）の10年後はどうなっているのか？棚田のあるべき姿や理想とはどんなカタチ？

昔からの長い歴史を持つ老舗商店や企業でも変化しつつ現在に至っています。時代の流れにも対応し、なおかつ存続可能な棚田であるには何を取り入れて何を固守しようか。常識にとらわれず多くの視点と様々な角度から出たアイデアや意見から独自の「発見」を持ち帰りましょう。

現地見学会の御案内 【10月18日（金）】

■稲倉の棚田と梔子ワイナリー見学コース 参加費 3,500 円（昼食付き）

稲倉の棚田と、世界最高のワイナリーを選出する「ワールドベスト・ヴィンヤード」にアジアで唯一4年連続選定されている「シャトー・メルシャン梔子ワイナリー」を見学します。どちらも地元農業者団体が主体となり遊休荒廃地を解消し、観光地へと進化させてきた歴史があり、保全活動の参考事例としてご紹介します。



シャトー・メルシャン梔子ワイナリー

上田駅温泉口 → 稲倉の棚田 → シャトー・メルシャン梔子ワイナリー
(8:30 発)
→ きのかむら深山（昼食） → アリオ上田（経由地） → 上田駅温泉口
※降車・途中解散できます。 (13:40 着予定)

■稲倉の棚田と上田城跡と柳町通り見学コース 参加費 2,000 円（食事なし）

稲倉の棚田と、戦国に名を馳せた真田氏の居城である上田城跡、その城下町として江戸時代には北国街道上田宿として栄えた柳町通りを見学します。

柳町には棚田パートナーシップ協定を締結し、酒米オーナー制度に取り組んでいる岡崎酒造（株）をはじめ、信州味噌の蔵元やパン屋等の発酵文化が根付くお店が軒を連ねています。棚田と企業・市街地との連携の参考事例としてご紹介します。



上田城跡公園

上田駅温泉口 → 上田城跡公園 → 上田 北国街道柳町 → 稲倉の棚田
(9:00 発)
→ アリオ上田（経由地） → 上田駅温泉口
※降車・途中解散できます。 (12:40 着予定)

■**稲倉の棚田と上田城跡と柳町通り見学コース（出発遅め）** 参加費 2,000 円（食事なし）

コース2と見学場所は同じです。
出発時間を少し遅めに設定してあります。



柳町通り

上田駅温泉口 → 稲倉の棚田 → 上田 北国街道柳町 → 上田城跡公園
(9:30 発)
→ アリオ上田（経由地） → 上田駅温泉口
※降車・途中解散できます。 (13:10 着予定)

■**国の名勝 姨捨の棚田（千曲市）見学コース** 参加費 2,500 円（食事なし【自由昼食】）

千曲市にある「田毎の月」で有名な国の名勝「姨捨の棚田」と「一生に一度は善光寺参り」と伝えられる長野市の善光寺を見学するコースです。
こちらのコースは善光寺周辺で自由昼食を楽しんだ後、長野駅で途中下車・解散も可能となっています。



©信州千曲観光局

国の名勝 姨捨の棚田

上田駅温泉口 → 姨捨の棚田 → 善光寺（自由昼食） → 長野駅（経由地）
(9:00 発) ※降車・途中解散
→ 上田駅温泉口
(15:00 着予定) できます。

■**日本遺産とため池百選見学コース** 参加費 3,500 円（昼食付き）

「太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち信州上田・塩田平として日本遺産の認定を受けているエリアを中心に見学します。
「塩田平のため池群」として国のため池百選にも選定された、ため池の築造や雨乞い行事などを学びます。



ため池「舌喰池」

上田駅温泉口 → 信濃国分寺 → 生島足島神社 → 塩田の里交流館とっこ館
(9:00 発)
→ きのこむら深山（昼食） → アリオ上田（経由地） → 上田駅温泉口
※降車・途中解散できます。 (14:00 着予定)

棚田サミットご案内宿泊ホテル以外の宿泊先

棚田サミットの提携ホテルではございませんが、稲倉の棚田にご縁のある宿泊先を紹介します。
(宿泊予約はお客様ご自身でお願いします)

Campin'稲倉の棚田

棚田サミット現地研修会の会場でもある、「稲倉の棚田」の
田んぼの中でキャンプができます！

(田んぼの中でのキャンプはサミット期間中限定)
テント等の道具のレンタルも可能です。

URL : <https://inaguranotanada.com/campin/>



稲倉の棚田HP

(一社) 信州千曲観光局

棚田サミット現地研修会の会場、千曲市「姨捨の棚田」周辺に
ある戸倉上山田温泉等の宿泊施設が掲載されております。

URL : <https://chikuma-kanko.com/lodging/>



信州千曲観光局HP

棚田パートナーシップ協定

長野県が推進している、棚田の保全団体と、企業等が連携して
保全活動を進めるため、関係者間による協定を取り交わす取組
です。

上田市の稲倉の棚田では、数多くの企業等と協定を締結しており、
棚田サミットの運営にあたっても御協力をいただいています。

棚田サミットにおけるパートナーシップ協定企業との連携の例

- ・岡崎酒造(株) . . . 第3分科会のコーディネーター
- ・千曲バス(株) . . . 宿泊先手配、現地研修会バス運行
- ・アリオ上田 . . . 特別展示会場、お土産の販売
- ・(株) 深山 . . . 現地研修会時の昼食会場



信州棚田
ネットワークHP